

MATSUDO USUAL

松戸市での暮らしを、ありのままに伝える
自分らしく、自分好みに暮らしている人たち
「まつどで暮らす」ってということ



MATSUDO USUAL

CONTENTS

INTERVIEW

- 04 | 新しい、家族の時間が流れ始めた。
北小金 鐘ヶ江 翔 さん
朋子 さん
- 07 | 私らしく、のびのびと根を張る。
新松戸 鶴見 奈央子 さん
- 10 | 予想しなかった、人との新しいつながり。
六実 濱野 千恵 さん

RESEARCH

- 13 | “まつど暮らしのプロ” にインタビュー
まつど暮らしの研究ノート
- 13 | 「まつどやさしい暮らしラボ」とは
- 14 | 「まつどやさしい暮らしラボ」のメンバーが着目する
まつど暮らしのあれこれ
- 16 | 座談会
わたしのまつど暮らし

TOPIC

- 20 | まつど暮らしな風景 USUAL PHOTOS
- 22 | [実態調査プロジェクト]
まつど暮らしなローカルマップづくり



「まつど」で暮らすって
どんな感じだろう？
そんな声に応えるために
ありのままの「まつど」を
詰め込んでみた。

「まつど」の各地で
暮らす人たちが
語ってくれたのは
何気ない日常の魅力。

「まつど」の魅力を伝える
活動をしている人たちが
教えてくれたのは
「まつど」をもっと知るヒント。

少しずつ増していく
手触り感。

着飾っていない、
ふだんの「まつど」。

新しい、家族の時間が流れ始めた。



3人と1匹の暮らし
よく話しかけてくれるまちの人
乗り換えなしの通勤
「まつど」にあった、自分好みの心地良さ

鐘ヶ江 翔(かねがえ しょう)さん・朋子(ともこ)さん

静岡県出身で、都内の印刷サービスを展開する会社に勤める翔さんと、岡山県出身で、都内のカスタマーセンターに勤める朋子さん。2019年3月に、東京の上北沢から、縁もゆかりもなかった松戸市・北小金にお引越す。



ペットを飼える
駅近物件を探していたら

以前は、東京の上北沢で暮らしていた鐘ヶ江さんご夫妻。松戸に住むことになったきっかけについて、「2人とも地方出身ですが、大学や専門学校への進学をきっかけに上京してからずっと、東京暮らしでした。犬を飼える駅近の物件を探していたら、ポツンと検索結果に北小金の物件が出てきて。ふと、住んでみたことがないエリアだし、千代田線が使えるから通勤にも便利だねって」と、朋子さん。「1物件目だったのですが、内覧をしたら2人で即決でしたね。駅から近いのに静かで、『東漸寺(とうぜんじ)』の参道も時代劇に出てきそうな雰囲気です。テンションが上がりました」と、翔さんは笑う。

松戸市に来てから
目まぐるしい暮らし

松戸市に来てから、3つの大きな出来事があった。念願だった。ペットとの出会い、翔さんの免許取得そして朋子さんの妊娠。「いま飼っているミニチュア・シュナウザーは、茨城県のペットショップにいた子なんです。『テラスモール松戸』の近くのペットショップに連れて

きてもらえて、『この子だ!』って連れて帰りましたと、朋子さんはスマホの待ち受け画面を笑顔で見せてくれた。免許は、「学生時代に取得しそびれていたんですが、子どもが生まれたら車移動できると楽だなって思ったんです」と翔さん。そして、家の近くにある産婦人科に通い始めた朋子さんは「初めての妊娠でしたが、優しい先生に診ていただけで安心して出産することができました」と振り返る。

共通の趣味を
楽しめるスポットも発見

学生時代からバンドでドラムを担当していた翔さんと、別のバンドでベースを担当していた朋子さん。夫妻の出会い

いも、共通の趣味である音楽を通してだった。そして、もう1つの共通の趣味が、メダルゲーム。「好きなんですよね、永遠にしていたいくらい」と朋子さんが笑うと、「近くにゲーセンがあるのは、良いなと思ったよな(笑)。松戸駅の近くにも、レトロなゲーセンもあって気になっていきます(笑)。子どもが生まれてからは行くことができていないけれど、気軽に夫婦で楽しめるリフレックス方法です」と翔さん。

まつど暮らしは
よく話しかけられる?

まつど暮らしも3年目。翔さん曰く「僕より都会が好き」という朋子さんは、どのように思っているのか尋ねると、



「今は育休中なので、働き始めたら感じる方が変わりそうです。都内に住んでいる友達が多いので、急には集まれないかな。でも、友達がこちらに来てくれるかもしれないね。松戸市の生活には意外と慣れてきました。子どもや犬と一緒にだからかもしれません。すぐ話かけていただきます。あとは、スーパーに行くとしじの方がかごを運んでくれたり、八百屋さんいろいろおすすめてくれたり。サザエさんに出てきそうな八百屋さん」と朋子さんが

言う、「よくたくさん買って帰って来るよね」と翔さんは笑う。「少しずつ行きつけのお店もできて、パンは『ツオップ』さんですね。リトルミントさんでは、いつも愛犬を可愛くトリミングしてもらっています」と朋子さん。

意外と自分の好きなものが近くにあるのかも

翔さんは暮らしの変化について、「通勤時間は長くなったけれど、40分ぐらい

乗り換えなしなので、貴重な自分の時間になっています。スマホゲームをしたり、アニメを見たりしていますけどね(笑)。子どもが生まれたこともあるけど、新宿、下北沢、吉祥寺に行かなくなりました。そこまで行くなら、柏、亀有、北千住でいいかなって。下北沢、吉祥寺では古着をよく買っていたんですが、噂で柏にも古着屋が多いと聞いたので行ってみたら、下北沢での行きつけのお店の系列店がありました。すごく好きだったラーメン屋の『せい家』も、柏にあることがわかって。自分の好きなものが、意外と近くにいっぱいあるぞって思いました。新しい楽しみは、駅前にいくつかあるカーシェアを利用して、流山に子ども服を見に行くことかな。コロナ前は友人家族と『マザー牧場』に遊びに行ったことも。外環を利用して片道2時間ぐらいで行けたので、近いし楽しかったです」

保育園や習いごと

夫婦で子どものことを考えながら

東京暮らしから、まつど暮らしへ。2人暮らしから、3人と1匹の暮らしへ。「こつ暮らしせたらいいな」を少しずつ、叶え始めた鐘ヶ江さん夫妻。最後は、お子さんについて聞いてみると、「今年

保育園に入りたいと思っています。駅前などにいくつか保育園があるの、調べ始めています」と朋子さん。翔さんは、「子ども向けの習いごと教室もたくさんあるみたいなので、楽しみます。時代的には、プログラミングや英語が良さそうですね。2人ともできないので、センスがないかもしれないけれど1度チャレンジさせてあげたいです。大きくなったら楽器を演奏してくれると嬉しいですね。一緒に演奏できる日が来るのかな」



私らしく、のびのびと根を張る。



夫と2人で

気のおけない仲間たちと

「まつど」を起点に

好奇心のままに、あちこちへ。

鶴見 奈央子 (つるみ なおこ)さん

和歌山県生まれ。大学卒業後、都内の証券会社で営業を経験し、現在は都内の会社でディレクターとして活躍中。松戸市生まれ・松戸市育ちの将史さんと結婚。松戸駅近辺に住み、清澄白河駅近辺に移り住み、2017年5月より、松戸市・新松戸で再びまつど暮らしをスタート。



仲間たちとの集合場所は 松戸市内の体育館



高校ではバレーボールに打ち込み、大学でもサークルに入っていた奈央子さん。サークルで知りあった夫や仲間たちと、バレーボールを楽しんでいる。「都内よりも松戸市内の体育館の利用料がお手ごろなので、良く使っています。いつもはだいたい20名ぐらい集まりますね。『和名ヶ谷スポーツセンター』は、施設がきれいなのでお気に入りです。そして練習の後は、松戸駅周辺で呑む笑。居酒屋『伊呂波(いろは)』さんで打ち上げがお決まりのコース。近くにあるカレーつけ麺が美味しいラーメン屋『魔乃菓(まのす)』さんに行くこともありますね」

まつど暮らしに欠かせない 行きつけのお店

「あ、ちなみに、新松戸の『高橋水産』や『二天一流(にてんいちりゅう)』も、美味しくておすすめですよと、次々にお店の名前が出てくる。それもそのはず、奈央子さんの趣味は美味しいものを食べて呑むことで、愛読書は『dancyu』。焼酎と日本酒が好きで、都内の店にも詳しく、たまに一人



呑みもする。「コロナ禍の今は、気軽に集まって外食することができないので、宅呑みを楽しんでいます。新松戸はスーパーがたくさんあって、日常の買い物には困らないですね。遅くまで開いているお店もあるので助かります。また、自宅のすぐ近くに、パン屋『サフラン』があるのが嬉しい。夫は新潟の魚が豊富な『角上魚類』に通っていますね(笑)。あとは週末にドライブがてら、新三郷や柏駅周辺に行ったときに、洋服や家具を見つつ、美味しそうなお店を仕入れていますね(笑)。自宅が近いし、色々な店がまとまっているので、買い物も楽しい。『コストコ』は友達家族と一緒にシエアしています。最近、食材だけじゃなくて器も気になり始めました。素敵な器に料理をのせると、お店みたいになりますよ。路地裏を歩きながら、セレクトショップを探したりしています」

こだわりなく 住み始めたけれど

すっかりまつど暮らしを満喫しているように感じられる奈央子さん。結婚後に松戸駅の近くに4年ほど住んでいたが、「夫が、一度は都民になりたいと言っているので、江東区に引越しました。夫



がっているので便利ですし」

自分の暮らしが、 歴史や伝統のそばにあること

まつど暮らしを始めてから、一番印象に残っていることを教えてもらった。「東京に住んでいる友達が、自宅に遊びに来てくれたことです。そのときは、少し足を延ばして流山市にある『かごや商店』さんで『流山本みりん』を買ったり、レトロな街並みを散策していて見つけた雰囲気の良いなぎ屋さんに入ったりしました。友達が遊びに来てくれると、張り切って案内したくなっちゃいます。

松戸市も歴史深いまちですよ。古い建物もけっこう残っていますし。歴史や伝統が感じられるスポットが、自分の身近なところにあるのって、なんか良いなと最近思いますね」

オンとオフの切り替えを 自分なりに楽しむ

平日は文字どおり朝から晩まで、ディレクターの仕事をしている。「大好きな仕事だから、がんばれる」そうだが、どうやってリフレッシュしているのか聞いてみると、「ずっと座っている仕事で運動不足が気になるので、ランニングをしたり銭湯に行ったりします。ランニングは、目標5キロ。江戸川に架かる流山橋まで走って、埼玉にタッチして折り返す。帰りにスーパーで買い物を買います。これからはいつものコースにある桜が咲くので楽しみです。銭湯は、都内に通動している夫と待ち合わせて行くことが多いです。三郷や野田の方に行くことも。温泉もありますが、サウナ大好きなんです」

見つけた私の景色 まだまだ未知のまじ

奈央子さんは、チャンスがあれば



木更津でキャンプや、金谷港で海釣りをするなどアクティブ派だが、地元で過ごす時間が増えたことで好きな風景が見つかったそう。小金城趾駅の近くにある『横須賀中央公園』に広がる緑。三郷ジャンクシヨンのあたりから見える工場群。流鉄流山線の踏切を渡りながら見る線路や、小金城趾駅近くの歩道橋の真ん中から眺める遠くの景色…。たくさんありますね。あと、松戸には意外と住宅街とともに、こだわりのお店が埋まっています。これからどんどん発掘していきたいです」



は、生粋の松戸っ子なので、気持ちがわからなくもない。そして、義妹が結婚して実家を出て義母が一人暮らしになるタイミングで、新松戸で二世帯同居することになりました。私は12歳のころに埼玉県の浦和に落ち着くまで、親の転勤で各地を転々としていたので、新しい環境に入ること慣れていないというか、こだわりのないというか、あまり構えることなく松戸にも新松戸にも住み始めたんですが、居心地がいいと感じています。駅前には賑やかですが、少し離れると住宅街の落ち着いた雰囲気が良いですね。新松戸駅を利用すれば、武蔵野線で私の実家の最寄り駅ともつな

予想しなかった、人との新しいつながり。



都会っぽくもあり
田舎っぽくもある
子育てにも、自分にも
ちょうど良い「まつど」のバランス。

濱野 千恵（はまの ちえ）さん

長野県出身、都内の化学メーカーに勤務。結婚を機に、2010年4月に松戸市・六実へお引っ越し。夫と保育園の送り迎えなど協力し合い、3人の子育てと仕事、自分時間のバランスをとりながら過ごしている。



都内の会社まで1時間圏内の
落ち着いたまちで
子育てをしたかった

結婚前は東京の国分寺市に住んでいた千恵さん。六実を選んだ理由を聞いてみると、「都内の会社まで通勤1時間以内で、子育てに適した落ち着いた雰囲気、場所がいいなと決めていました。そして、夫も私も戸建てで育ったので、戸建てに絞って探しましたね。結婚前に夫が馬橋に住んでいたこともあって、同じ松戸市内の六実に来てみたんです。都会っぽくない風景を見ていたら、自分が生まれ育った長野市を思い出して、ここだったら子育てができそうだなと感じました。実は夫が通っていたゴルフ練習場も近くて、夫がすぐく前向きでしたね。引越して驚いたことは、国分寺に住んでいた時は駅から近かったので、だいたい徒歩で済ませていました。でも、六実は車があった方が便利だったので、ペーパードライバーだったんですが、練習を頑張りました(笑)」と振り返る。

「おせっかいで守ろう子どもたちが
あたたかい

六実に来てから3人のお子さんを出産

し、長男は今年小学5年生に。「六実の小学校は、小規模なんですよね。息子が通っている学校は1学年20人のクラスが2つ。先生方と信頼関係を育むことができますし、子どもたちも学年全員の名前を覚えていきます。すごくアットホームですよ。運動会も混まないです(笑)。そして、まちの皆さんが毎朝、通学時間に見守りパトロールとして、まちかどに立ってくださいなんです。言葉が、『おせっかいで守ろう子どもたち』なんです。子どもの顔と名前もちゃんと覚えてくださっていて、『今日は遅いね!』など声もかけていただけ。『そついう地域のあたたかさ』がとても嬉しいですよ」と千恵さんは微笑む。

ママ友の口コミは間違いはない(笑)
相談も旅行もする仲間

夫婦そろって呑むことが好き。お店選びは、「ネットの情報より、ママ友の口コミを信頼しています。六実駅前にある『ひよっこりごん助』は、家族でもママ友同士でも楽しめる、まさに第二の食卓です(笑)。他にも、イタリアン『Kamado』や、焼肉屋『安安』も行きつけです。ポーンス日など特別なときは、八柱にある焼肉屋『ぼたん』で贅沢をすることも」と千恵さん。ママ友付き合

いについて聞いてみると、「長男が保育園児のころは、1人目の子どもだったこともあって、ママたちとどういう距離感で接していいのかわからなかったのですが、卒園間近になって仲良くなった感じです。無理しなくていいんだと分かって、下の子たちを通じたママ友とも仲良くできるようにになりました。仕事や子育てのことを相談したり、家族ぐるみで関東近辺に車で旅行に行ったり。金曜日にLINEで連絡を取り合って仕事帰りに軽くお店で乾杯することもありますが、週末お互い



“まつど暮らしのプロ”にインタビュー

まつど暮らしの研究ノート

市内で精力的に活動されている方々がメンバーとなっている「まつどやさしい暮らしラボ」。“まつど暮らしのプロ”たちに、これまでの同ラボの活動から見えてきたこととともに、市民としての長いご経験から、「まつどで暮らすこと」の実態について、インタビューしました。



「まつどやさしい暮らしラボ」とは

松戸市のシティプロモーションは、地域の資源や魅力を伝えるためのPR活動や情報発信だけではありません。松戸市内外の多くの人々に「まつど」というまちに対して愛着や誇りを持ってもらい、まちや人々の間に眠っている地域の魅力や人々の交流等を掘り起こし、新たなまちの魅力や人々のつながりを創り育てていくことが、とても大切なことだと考えています。そこで、松戸市にお住まいの方たちや松戸市に愛着のある方たちが、行政と一体となって、松戸市の魅力や松戸市らしさを再発見し、自ら発信していく情報共創型のプロモーション活動として「まつどやさしい暮らしラボ」が2013年度に発足しました。「まつどやさしい暮らしラボ」は、発足してから7年。市民が主体となって、松戸市の魅力や暮らしやすさについて探求し、これまでに市内内外で様々な活動を実施してきました。



2013年度

- 松戸市の“やさしさ(魅力)”の共有や探求
- 積極的な活動によるアピールやPR

2018年度

- 松戸市での暮らしの実態の把握、共有、発信
- まつど暮らしのプロモーション活動を展開

STEP2 CP醸成期 / ライフプロモーション創成期

CP：シティプロモーションの略

■□：ラボ全体関連 ●○：市民記者関連

STEP1 シティプロモーション創成期 → CP活動期

- 「まつどやさしい暮らしラボ」の発足 (2014年)
- 「まつどやさしい暮らしラボ」WEBサイトの開設 (2014年)
- 「まつどライターズクラブ」の発足 (2014年)

- 第1回「まつどやさしい暮らし会議」を開催 (2014年)
- 「ごちそうとぼうさい」を開催 (2015年)
- やさしい暮らしインタビュー&アンケートの実施 (2015年)
- 「防災フェス2016」を開催 (2016年)
- 「松戸やさしい暮らしガイド」を発行 (2016年)
- 「柏レイソル 松戸ホームタウンサンクスデー」への参加 (2016年)
- ワークショップ「YAKIRI♥なう」を開催 (2017年)

- 編集会議を実施 (2014年以降、計11回)
- 市民ライターによる記事発信 (2014年以降、計80件)
- 市民ライター研修(協力:『コロカル』編集部)を実施 (2015年)

- 「まつどやさしい暮らしラボ」WEBサイトのリニューアル (2019年)
- 「まつどライフプロモーション」の始動 (2019年)

- 「プロジェクトメンバー&市民ライター 合同勉強会」を開催 (2019年)
- 「まつどの『暮らし歳時記』づくりワークショップ」を開催 (2019年)
- 「暮らしの実態を探る街頭インタビュー調査」を実施 (2019年)
- 「松戸と柏の“農”のコラボ販売イベント」を開催 (2020年)
- まつど暮らし実態調査プロジェクトの開始 (2020年~2021年)
- 柏にて「まつど都合のいいマーケット」を開催 (2021年)
- 「MATSUDO USUAL」の発行 (2021年)

- 編集会議の開催 (2018年以降、計4件)
- 市民ライターによる記事発信 (2018年以降、計20件)
- セミナーや講座等への参加支援 (2019以降、計7件・利用者数計6名)



の家に遊びに行くこともありません。職場の人に話すと、「コミュニケーションが高いですね」って驚かれるのですが、そんなことはなくて(笑)。似たもの同士、仲良くさせてもらっているというか。私も大人になって友達ができるとは思っていません。ですが、これもアットホームな六実ならではの文化かも？同じ保育園だった長男の友達の中には、別の学区の小学校に通っている子もいるのですが、市立の中学校はこのエリアに1校なのでまた一緒にいるんです。楽しみだし、安心ですよ。まちの一体感も、そんなところから生まれているのかもしれないですね」

桜と梨が大好き
わが家流の楽しみ方を見つけて

春と秋は、千恵さんの好きなものが楽しめる季節。「春は、桜ですよ。3カ所巡るので、開花すると忙しいんですよ。六実のさくら通り、八柱常盤平く五香のさくら通り、八柱霊園です。特にこの『八柱霊園』のあたりは、高い桜の木々が道を覆っていて、桜のピンクに透ける青い空が本当に美しく。ぜひ、ドライブがてら行ってみてほしいです。六実の『さくら祭り』は市外からも多くの方が訪れる、このエリアの一大

イベント。地元の方の屋台などがずらりと並びますよ。そして秋は、「梨です！六実に来る前は、あれば食べるというぐらいだったのですが、こちらに来たら『あきづき』か『おり』新高(にいたか)など、いろいろな種類が楽しめるので好きになっちゃいました。種類ごとにお気に入りの農家さんがあって、あちこち買いに行っています。スーパーでは買ったことはないですね。農園で直接買えるのっていいですね。野菜などを直売しているところも多いので好きですよ」と千恵さん。

今はすっかり
六実がぴったり

まつど暮らしも10年を超えた千恵さんに住み心地を聞いてみると、「都会っぽさと田舎っぽさのバランスがちょうど良いし、ママ友や近所の人たちも皆さんあたたかいし。そして、意外と便利。東京への通勤はもろろん、車で『セブンパークアリオ柏』や千葉ニュータウンにもすぐに出られるし。大津川の河川敷や白井市の大きめの公園にさっと行って、子どもたちを遊ばせることもできます。子どもたちの習い事もいろいろ選べて、今は保育園に英会話の先生が来てくださるので

そこに通ったり、六実市民センターで空手を習ったりしています。私としても、オフィス街との違いが大きくてオンオフのメリハリがつけやすく、通勤中にお料理ブログを見たり、乗換駅の船橋でネイルやデパ地下で買い物したり、私1人の時間も持っています。こんなライフスタイルが、今の私にぴったりなのかなと思います」



03 県内唯一の公立の芸術高校
千葉県立松戸高等学校



2004年に千葉県内の公立校で唯一の芸術科が開設された県立高校です。普通科の生徒でも芸術科の専門科目を学ぶことができ、学校全体で芸術文化の感性を高め、芸術に親しむ「豊かな心」を育める教育課程になっています。校内の渡り廊下などはギャラリー化していて、生徒たちの美術作品を多く展示しています。



松戸市社会教育委員
奈賀 綾子さん

演劇部も強豪で、8年連続で関東大会に、2年連続で全国大会に出場しています。2019年に100周年をむかえた歴史ある高校です。

04 徳川家もお気に入りの松戸の景色
戸定が丘歴史公園と富士山

1884年に水戸徳川家第11代当主の徳川昭武(あきたけ)の別邸として建てられた戸定邸とその庭園を含む旧松戸徳川家の敷地が、戸定が丘歴史公園です。高台の土地にあることから眺望が良く、松戸市街や江戸川等を望むことができます。戸定邸から望める富士山は、「関東の富士見百景」に選ばれています。



八嶋商店
八嶋 正典さん

地元では良く囁かれる『水戸様はこの眺めが良くて、家を建てたんだ』という話が納められる景色があります。昔は建物もまばらで今よりも空が広がったので、夕焼け空は絶景だったのでは。



ラジオボワロ
寺田 一彦さん

幻の将軍、徳川昭武公がこだわって造った庭園はおススメ。自分を空っぽにしたときに訪れて、ぼーっとするだけで、気分転換になります。

05 市街地のだ真ん中の里山自然
21世紀の森と広場



市街地のだ真ん中にありながらも、広大な芝生広場に加え、昔からある里山風景や森林、湿地帯が残る自然尊重型の公園です。約50haの面積で、みどりや野鳥等の自然とふれあいながら散歩できるほか、芝生広場やBBQ場もあるので、様々なアクティビティで楽しむことができます。オオハクチョウが渡来する年もあり、運がよければ珍しい動物たちにも出逢えるかも。1993年の開園以来、毎年約60万人の方が来園しています。



NPO法人ささま
石川 静枝さん

四季折々の変化が見られるのが魅力です。普段の生活からちょっと離れたい時に行くと、非日常を感じられます。



まっどい
おこめのいえ手創り市
篠澤 史子さん

子どもと一緒にのんびりのびのびできる公園で、お弁当持ってピクニックにもぴったりです。思いっきり走れる広場や森、池などの様々なエリアがあります。素敵な音楽が聴けるイベントもあります。

「まっどやさしい暮らしラボ」のメンバーが着目する
まっど暮らしのあれこれ

まっど暮らしを充実させてくれているスポットやモノコトを、「まっどやさしい暮らしラボ」のみなさんから教えていただきました。

01 春の松戸は特別です
さくら祭り

松戸のまちには、6つの「さくら通り」に加え、坂川沿いの河津桜、東漸寺のしだれ桜、新坂川緑道の桜並木など、春の桜の開花を楽しめるスポットがあります。桜の開花時期に合わせて、市内のあちこちではさくら祭りが開催され、春の松戸は賑わいます。



ラジオボワロ
上條 梨子さん

松戸では、3月開催の『松戸宿坂川河津桜まつり』を皮切りに、1カ月近く、桜の花と賑わいを楽しむことができますので、春は特別です。

『六実桜まつり』に、バンド演奏で参加したことがあります。六実のさくら通りは幅が広くてゆったりとしていて、その両側にずらっと屋台が並んでいました。花びらの風がそよぐ中、地元の方々が温かく賑わっている様子をステージ上から眺めて、とても心地よかったのを覚えています。



あじさいねぎ農家
秋山 尚文さん

02 採りたての地元農産物が身近に
農家による野菜等の直売

矢切ねぎ、あじさいねぎ、梨、枝豆、新松戸レモンをはじめとした様々な農産物が松戸にはあります。市街地でたくさんの方が農業を営んでおり、直売所や軒先販売を数多く見かけます。季節折々のものやスーパーでは見慣れない珍しいものまで、新鮮な野菜や果物等が身近で、容易に手に入れることができます。



石井農園
石井 寛茂さん

市内の至る所の農家さんが軒先での直売も行っています。農家さんによって、それぞれの特色があるので、面白いですよ。



みのり台駅近くの土屋農園や千駄堀にある香取神社付近の直売所、千葉県立松戸高等学校の正門近くの直売所をよく利用しています。新鮮な野菜がお得です！土屋農園さんでは6月中旬頃からブルーベリー狩りができます！



学校法人いわはま学園
北部幼稚園
山口 恵理子さん





座談会

わたしのまつど暮らし

「まつどやさしい暮らしラボ」の女性メンバー4名から、それぞれの暮らしの中で気づいたまつど暮らしの魅力やまちのたしなみ方について、色々と教えていただきました。

「つながりが嬉しいし、ほっとする」

—篠澤さんは10年超、他のみなさんは30年超のまつど暮らしのプロですね！まつどらしさを感じるエピソードを教えてください。

石川さん そうですね、私も30年を超えたんですね笑。福島出身ですが、すっかりこちらに根を下ろした感じですよ。エピソードですよ…事務所の隣に高齢の方がお住まいなのですが、先日カプをお裾わけしたら、そのカプで作ったお新香をいただきました。ゆるやかなつながりが紡がれている感じが心地良いです。

篠澤さん 「つながり」、素敵ですよ。子どもの保育園の帰り道にあるお豆腐屋さんによく行くんですけど、たまにおばあちゃんが店番をされていて、子どものことを可愛がってくれます。おからドーナツをサービスしてくれます。

ことも。あとは、昔からあるパン屋さんも近くにあって、子どもがお店のご主人を「ジャムおじさん」だとずっと思っていて。ある日、子どもが勇気を出して聞いたら、「そっかだよ」と答えていただきました(笑)。「子どもが小学生になったら、通学路になります」とお伝えしたら、「任せて、見守るから」と。こういうやりとりや日常のお付き合いが嬉しいし、癒されます。

山口さん 松戸市には農家さんが多くて、自宅の近くに直売所があって珍しい野菜を買うことができるんです。農家さんに直接「どうやって食べるんですか？」と聞くと、おすすめの食べ方を教えていただけ。料理が好きなので土曜日の朝に『松戸南部市場』に行くと、顔なじみのお寿司屋さんが仕入れに来られていて、「最近、来ないですねー！」なんて言われちゃったり(笑)。

「まつどやさしい暮らしラボ」で活動するみなさん

篠澤 史子(しのざわ ふみこ)さん
夫の転職で札幌市から松戸市へ。古民家の庭にて「おこめのいえ手創り市」を定期的で開催。5歳児を育てつつ、保育園にも勤務するワーキングママ。

石川 静枝(いしかわ しずえ)さん
『NPO法人さんま』を立ち上げ、子どもの居場所づくりや子ども食堂の運営を通して、子どもたちを見守る地域づくりに尽力。

山口 恵理子(やまぐち えりこ)さん
幼稚園を経営。30歳の頃に青年会議所に入り、子どもたちが幸せに成長できるまちづくりを願って多くの活動に参加。

上條 榮子(かみじょう えいこ)さん
10年前にインターネットラジオ『ラジオボワロ』を立ち上げ、毎週松戸にゆかりのある方の情報を発信中。

飲食店の方も気さくな方が多くて、会話が楽しいです。

上條さん 松戸のために頑張っている農家さんが多いですよ。全国のねぎが集まる『全国ねぎサミット』が1昨年松戸で開催されて産地間交流会の司会を担当しましたが、『天切ねぎ』と『あじさいねぎ』の2ブランドは本当におすすめ。飲食店さんにご協力いただいて、コラボメニューを作っていたこともあります。農家さんも飲食店さんも、松戸を盛り上げるためならと取り組んでくださるんですよ。

—飲食店が盛り上がると、まちも元気になる感じがしますね。松戸市ならではの特色あるお店はどんなものがありますか？

上條さん 純喫茶がけっこうあるんですよ。松戸の『川名』常盤平の『珈琲園』など、雰囲気が良いんです。

山口さん 私も好きですね、純喫茶。松戸新田の『珈琲待夢(コーヒータイム)』とか。メニューを見ると歴史を感じますね。

篠澤さん おしゃれな新しいお店も

多いけど、ベトナム料理店が増えてきたと思います。新松戸のあたりは、ベトナムやネパールの方も多く住んでいるので。一度、ベトナム食材店さんにも行ってみました。

石川さん そうですね、宗教の考え方に対応したお店も増えていそう。フィリピンや中国の方も多いですよ。けっこうインターナショナルな雰囲気なんです。

上條さん 羊のたたきを食べられるエスニック料理店もあって、美味しいですよ。あと一押しは、もつ焼き屋『かがやす』さん。都内に住む、もつ焼き好きの人を連れて言ったら絶賛していました(笑)。ディーブな呑み屋さんもけっこうあります。日中のまちなかの家庭的な雰囲気、夜にはガラツと印象が変わります(笑)。ラジオ番組の方にも、いろいろな情報が寄せられます。松戸市内の飲食店はバラエティに富んでいますよ。

山口さん ワインバルやお寿司屋さんも多い気がしますよね。何度か、上條さんとお店でお会いしましたよね(笑)。

—皆さん様々な活動されていますが、まちをよく知るきっかけはどんなものがありますか？

山口さん 行事やイベントはそのきっかけになったりしますよね。たとえば

「身近なところにも暮らしの歴史が息づいている」

獅子舞かな。普段は意識しないけど歴史の重みがすごいです。市内の大橋・和名ヶ谷・上本郷の3地区でまだちゃんと続いていて、今でも地域の子どもたちが習い、伝統をつないでいるんですよ。あとは、『東漸寺』から出発する、『お会式万灯行進（おえしきまんとこうしん）』、坂川に灯籠（とうろう）を流す『松戸宿坂川献灯（けんとう）まつり』とか。『まつどやさしい暮らし』



『ラボ』の活動を始めて、それまで普通に暮らしているときには気づかなかった歴史的なものが、さりげなく身近なところに色々あつてびっくりしました。
上條さん 私も同感です。お祭りといえば、『松戸神社』のお祭りもすごい。たくさんの御神輿（おみこし）が集まって、担ぎ手さんもすごい人数で。
篠澤さん 御神輿、初めて見たとき驚きました。神様を見下ろすことになるから上から見てはダメなんですよ！一度、住んでいる地域の御神輿を担がせてもらったことがあります。誘っていたいただいたときに、私は北海道出身なので「本当にいいですか？」と聞いたら、「いいよー！」って。嬉しかったなあ。
上條さん まちの新しい方たちにも楽しんで欲しいんですよ。
石川さん そうそう。入りにくいイメージがあるかもしれませんが、そんなことはないですよ。
上條さん お寺といえば、北小金の『あじさい寺（本十寺）』のあじさい。『東漸寺』の紅葉も素敵。最近は「GoTo近所」で、松戸らしい場所を見つけるのが楽しいんです。



「季節の移ろいを楽しめる」 「花々や紅葉の名所が多くある」

篠澤さん お花だと、常盤平の『祖光院（そこういん）』の彼岸花もすごい！
石川さん 松戸は、並木が多い気がします。市内にさくら通りと名付けられた通りが6つ（紙敷く松飛台、常盤平、小金原（南北）、小金原（東西）、六高台、八ヶ崎）もある。松戸は春が楽しみですよね。
篠澤さん あと、『古民家スタジオ旧・原田米店』でもイベントを開催していますよ。松戸駅前のご真ん中に、そこ

だけ時が止まっているように、当時の商家古い母屋が残っているんです。アーティストやクリエイターがスペースを借りている他、お庭で定期的に開催される『おこめのいえ手創り市』では、地元で縁のある作家さんたちの作品に出会えます。
上條さん 1点ものが販売されていて、いいですよ。あそこはオシャレな雰囲気、吉祥寺感があります（笑）。
石川さん クリエイティブなお仕事を



している方もけっこう出会います。絵本作家さんとか。
 ーなるほど。ちなみにみなさんは、松戸市からのおでかけでよく行かれるところはどこですか？

篠澤さん カーシェアを利用しているので、いろいろ一度に見たり済ませたりできる三郷によく行きますね。
上條さん 私も同じ、三郷ですね。江戸川を越えるとすぐなので。三郷に商業施設ができる前は、千葉ニュータウンや幕張の方まで。常盤平に住んでいたときは、柏によく行っていました。松戸市内でも、住んでいる場所で行動範囲が変わりますよね。周りにも色々あるから便利。
石川さん 私は流山ですね。まちが少しずつ変化する様子を見るのが好きで（笑）。おしゃれな若い家族が多い印象ですね。

ー それでは最後の質問です！
 松戸市内で、住んでみたい憧れの場所はどこですか？

上條さん 東松戸ですね。一気に開発が進んで、新しい方たちがほぼ一斉に暮らし始めた場所。若いご夫婦だけでなく第二の人生をゆっくり過ごされて

いる方も多いようです。おしゃれなお店が出店していたり、スーパーの品ぞろえも他の地域の店舗とは少し違っていておしゃれなフルーツがあったり。
山口さん 東松戸、私も！これからこのまちはどうなっていくのかなという楽しみがあります。伸びしろがあるというか。あとは、北小金かな。小さいお店がポツポツとあつて、自分のお気に入りを見つけてみたいなあ。

上條さん 北小金は宿場町だったから、歴史あるものと新しいものがうまくコラボしているイメージがありますね。
山口さん 八柱も、寿司屋とか焼き鳥屋とか好きなお店がたくさんあるから良いなあ。生活やその日の気分を選べるんです。考えごとをするならここ、マスターと話すならこことか。今も通っているけれど、住んでみたらどんな感じなんだろうと思います。
石川さん 八柱のまちは元気な感じがします。新しく保育園ができた、スーパーができた。コロナ禍で気分転換がしたくて『21世紀の森と広場』を歩いたんですが、こういう場所が身近なところにあるのがうらやましいなと思

いました。あとは江戸川付近の樋野口あたりも、雰囲気が好きです。
篠澤さん なるほど。職場や子どもの保育園のことを考えると、新松戸が便利だなと思います。いつも自転車ですべて歩いて、住みやすそうに見えるし。憧れというか気になっているのは、常盤平あたり。面白いお店が増えてきている気がします。それこそ、パン屋『マルサン堂』さんとか。常盤平駅から歩きますが、おしゃれでこだわりのあるパン屋さんだから、人気のパンは売り切れちゃうことも多いです。常盤平団地の『スターハウス』も可愛らしいし、アーティストの方とか若い人たちが少しずつ入ってきていて。もしかしたら、大きく変わるのかも？と注目しています。

上條さん 松戸市は、駅がとても多いから、駅ごとに周辺の様子や住んでいる方の感じも違う。ほんと多様なまちだなあとつくづく。一筋縄ではないですね（笑）。その分、いろんな未来や可能性もあると感じます。

ー ありがとうございます！

「松戸市は、それぞれのエリアで個性が感じられる」





@fish_1011
#常盤平 #マンモス団地 #2017年



@gunsou_bouei64
#五香六実 #自衛隊の盆踊り #2018年



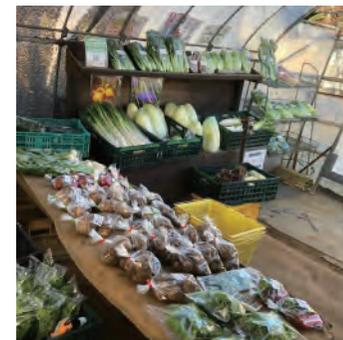
@hagism
#六実 #木材店の正月挨拶 #2013年



@ichinose0527
#東松戸 #タヤけ #2021年



@yukarisoftball
#西馬橋 #少年ソフトボール #2020年



@majimafarm
#六高台 #農産物直売 #2019年



@dandahighway
#中矢切 #高速道路でMV撮影 #2017年



@takukimu6500
#松戸 #跨線橋 #2021年



@hide02chocoball
#千駄堀 #芝生広場 #2020年



@himiasu
#小金原 #交通公園 #2018年

まつど 暮らしな 風景

USUAL PHOTOS

ふつうの日のこと。特別な日のこと。
さまざまな暮らしの風景が生まれています。
そんな風景をとらえた、まちの方々の写真を
集めてみました。



@alucky.k
#松戸 #神社参拝 #2017年



@k_suike
#新松戸 #鉄道駅 #2020年



@mumintyu
#六高台 #さくら祭り #2014年



@takukimu6500
#大谷口 #カーブミラー #2021年



@usikousi
#小金原 #駄菓子屋 #2019年



@karikarikuncurry
#松戸新田 #市場 #2020年



@biiku_pocket
#岩瀬 #アートイベント #2019年



@dandahighway
#中矢切 #高速道路でイベント #2018年



@0302Ain
#小金原 #パン焼き小屋 #2021年



@takukimu6500
#小金 #寺のもみじ #2020年

「実態調査プロジェクト」

まつど暮らしの
実態調査プロジェクト

松戸市での暮らしに密着した、地元の方々だからこそ知るローカルな情報を集め、まつど暮らしの実態を探るべく、期間限定の調査プロジェクトが2020年10月より開始しました。調査メンバーを一般公募して、集まったのは市民と学生の4名。

を経て、再認識や新発見を含めた、まつど暮らしに関する生の声をたくさん集めることができました。「駅も、並木通りも、パン屋もたくさん」「東京に近いにもかかわらず、タヌキやカワセミがいたり、こだわりの野菜やフルーツがあったり。自然の恵みが身の回りのあちこちに！」「電車でも車でもお出かけは便利！」など、まつど暮らしの実態に迫ることができました。



取得した情報すべては紹介できませんが、調査結果を、まつど暮らしな『風景』と『ローカルマップ』にまとめました。

▶ まつど暮らしの実態調査チーム



① 調査メンバー
林 歩未
所属：某学習塾
年齢：34歳
好きな食べ物：お寿司

② 調査メンバー
丸 巻 正 人
所属：合同会社
ワンダークリエイト
年齢：35歳
好きな食べ物：たくあん

③ 調査メンバー
丸 森 さ お り
所属：千葉大学 園芸学部
緑地環境学科
年齢：21歳
好きな食べ物：たこやき

④ 調査メンバー
佐 々 木 圭
所属：千葉大学大学院
園芸学研究所
年齢：23歳
好きな食べ物：ケバブ

サポートメンバー
⑤ 萩野 正和 (株式会社 connel) ⑥ 斎藤 啓祐 (松戸市 シティプロモーション担当室)
⑦ 難波 幸一 (松戸市 シティプロモーション担当室) ⑧ 細田 渉 (株式会社 connel)



除夜の鐘

お寺も多いので、鐘の音が鳴り響く地域も、ちらほら。大晦日には、まちは良い雰囲気。



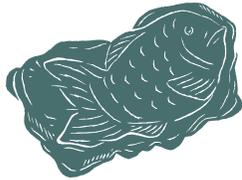
みどりのトンネル道

さくら通りをはじめ、けやき通り、たいわんふう通り・・・、並木道が実はたくさん。



東京外環自動車道 松戸 IC

2018年に開通。都内や房総方面へのおかけがさらに便利。



たい焼き

市民に愛される、松戸駅西口にあるたい焼き屋。



東葛駅伝

東葛地方の公立中学校等による年に1回の駅伝大会。松戸は毎年、スタートかゴール、どちらかの地点。



暮らしにいつも音楽が

合唱や吹奏楽の部活動が盛んで、全国大会に度々入賞。市内公立中学校の合唱祭は、一流アーティストと同じ、森のホール21で。



野生の動物

タヌキ、カワセミ、フクロウ、ハクチョウ、オオタカなど、野生の動物たちも棲んでいる。



喫茶店やカフェ

こだわりのおしゃれカフェはもちろん、レトロな喫茶店が今もお息づいている。地元で愛される洋菓子店もけっこう多い。



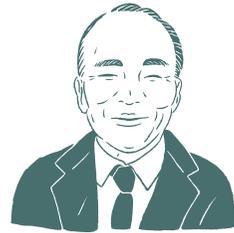
農家の直売

地元農家の野菜や果物を新鮮なうちに直接買える軒先販売や直売所があちこちに。



パン

老舗から有名店まで、個性あふれるパン屋がそろっています。マップのとおり、市内のあちこちに。



マツモトキヨシ

日本を代表するドラッグストアは、松戸が発祥。本社は新松戸。創業者は松戸市長も歴任の松本清。



6路線 23 駅

市内や市外のおかけも容易。駅の数だけ、まちのカラーもさまざま。



粋な新年挨拶

毎年、木材店「マツムラ」さんでは、角材を使って、新年挨拶。近年の絵は、地元中学校とのコラボ。



21世紀の森と広場

千駄堀池を中心に、森林や湿地帯、芝生広場、BBQ場があるみどり豊かな公園。広さは、なんと、東京ドーム約11個分。



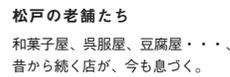
四季を感じるみどり

桜やあじさい、彼岸花等の名所や森林、河川などの自然があちこちに。四季のうつろいが身近。



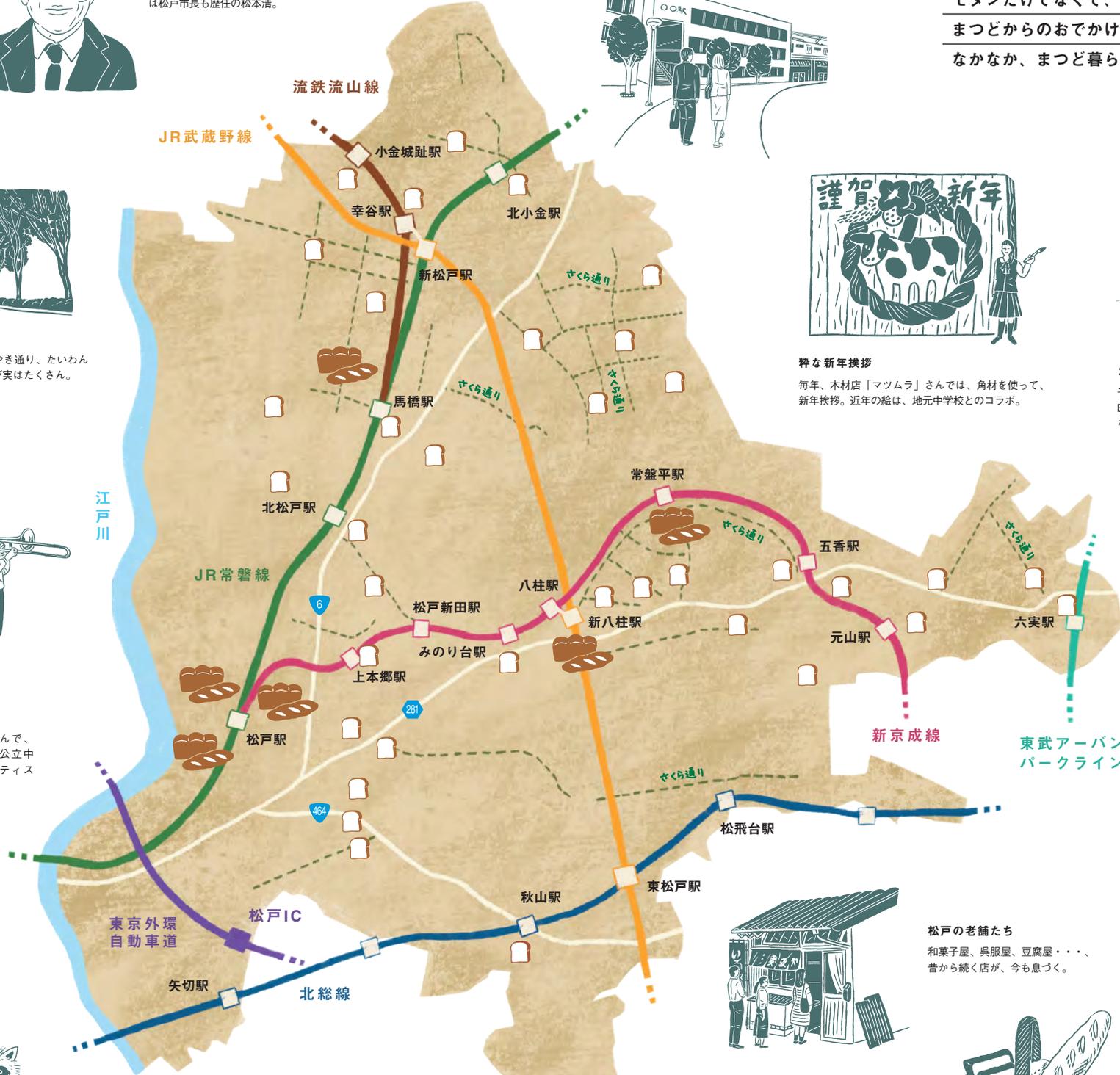
お顔だけの大仏様

荘厳仏具・社寺建築会社「翠雲堂(すいうんどう)」さん。いつも見守ってくれている、穏やかなお顔。



松戸の老舗たち

和菓子屋、呉服屋、豆腐屋・・・、昔から続く店が、今も息づく。



地図のアイコンについて

	パン屋さん(1~2店舗)
	パン屋さん(3店舗以上)
	並木の通り



CREDIT

発行：千葉県 松戸市
発行月：2021年3月

- ※ 本誌に掲載されている記事や図版、写真等の無断掲載、複製・転載等は固くお断りいたします。
- ※ 本誌に掲載されている情報は、取材や調査を2020年10月初旬～2021年2月末日にかけて実施したものです。その後、諸事情により情報などが変更・改定になる場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 本誌に掲載されている内容は、個人の発言や個人が発信した見解・意見等の情報を元にして作成したものであり、松戸市がその事実を確定するものではありません。
- ※ 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、取材やワークショップ等の作業を実施しました(ただし、本誌に掲載するための写真撮影時のみに限り、インタビュー等の対象者には、一時的にマスクをはずしてもらい、撮影を行いました)。

まつどライフプロモーション事務局【お問い合わせ】

松戸市 広報広聴課 シティプロモーション担当室

☎ 047-366-7320

✉ mcpromo@city.matsudo.chiba.jp

〒271-8588 千葉県松戸市根本387番地の5

まつどライフプロモーション HP
<https://matsudo-yasashii-labo.jp/>

